



## バージョン8.0.1

### よくある質問

SheetCAM v.8.0 の主な新機能は何ですか?バージョン 8.0 では、統合 2D CAD モジュール、材料を効率的に使用するための自動ネステイング、新しい機能と断面を備えた強化されたチューブ切断モジュールなど、いくつかの主要な機能が導入されています。

新しいAutoNesting機能はどのように機能しますか? AutoNestingモジュールは、シート上に複数のパーツを自動的に配置し、無駄を最小限に抑えます。試用版ではこの機能をお試しいただけます。ライセンスをご購入いただくと、出力機能がロック解除されます。機能の詳細な説明と例については、ウェブサイトまたはAutoNestingモジュールのヘルプメニューにあるクイックスタートガイドをご覧ください。

2D CAD機能についてはどうでしょうか?この機能は、シンプルで直感的なインターフェースと包括的なツールセットを備えています。2DCADを使えば、新しい図面を簡単に作成したり、既存のDXFファイルやDWGファイルを編集したりできます。編集後は、どちらの形式でも作業内容をエクスポートできるため、SheetCAMでパーツジオメトリとして使用できます。アプリケーションには「クイックスタート」ボタンが用意されており、CAD初心者でもわずか数分で基本操作を習得できます。

SheetCAM v.8.0 ライセンスの価格に変更されましたか?はい、新機能と開発チームの継続的な成長を反映し、バージョン8.0のリリースに合わせてライセンス価格を調整いたします。現在の小売価格は279ドルで、これは導入価格です。価格は今後変更される可能性があります。

試用版にも制限はありますか?はい、SheetCAM V8.0の試用版には、エクスポート可能なGコード行数に制限があるなど、バージョン7と同じ制限があります。新しい2D CAD機能とAutoNesting機能にも試用版の制限がありますが、ライセンスを購入すると解除されます。2D CADでDXFファイルを保存するときにエラーが表示されたり、AutoNestingからエクスポートできない場合は、有効なバージョン8ライセンスを購入してインストールしていない可能性があります。

## 技術およびライセンスに関する質問

既存のツールライブラリとポストプロセッサはバージョン8.0でも動作しますか？ほとんどの場合、動作します。バージョン7を構成するコードの多くはそのまま残っているため、バージョン8.0は下位互換性を維持するように設計されています。ただし、OEM固有のポストプロセッサは新機能をサポートするためのアップデートを提供している可能性がありますので、必ずご確認ください。有償アドオンは当面の間、引き続きご利用いただけます。

SheetCAMのライセンスはどのように購入しますか？ユーザーは引き続き、SheetCAMのウェブサイトまたは正規販売店からライセンストークンを直接購入します。このトークンをソフトウェアに入力すると、v7と同じ手順でフルバージョンのロックが解除されます。

お客様にはどのようなサポートをご利用いただけますか？ SheetCAMフォーラムと直接のメールサポートを通じてサポートをご利用いただけます。メールでのサポートは引き続きご利用いただけます。お客様のワークフローを支援するため、タイムリーなサポートを提供することに尽力いたします。

1つのライセンスで複数のマシンで使用できますか？ SheetCAMライセンスはコピー単位で、1台のPCで使用できます。ただし、ユーザーが1台のPCからプログラムをアンインストールした場合でも、同じライセンスを別のPCにインストールすることは可能です。

バージョン 8.0 は Linux で動作しますか？現在、バージョン 8 は Windows マシンでのみ動作します。

Linuxユーザー向けにはバージョン7をご用意しております。現在、バージョン7への新機能の移植に取り組んでおり、今後数か月以内にLinux向けバージョン8を提供できる予定です。

Linux 互換バージョンが必要な場合は、サポート チームにお問い合わせください。

一般的な問題は、多くの場合、次の点を確認することで解決できます。

- a) まず、最新バージョンをダウンロードしてインストールしていることを確認してください。  
SheetCAM はこのウェブサイトから入手できます。
- b) クイックスタート（2D CAD用）とヘルプ（自動CAD用）という簡単なマニュアルを読んでください。  
ネスト）。
- c) a) と b) が役に立たなかった場合は、カスタマー サポートにお問い合わせください。

SheetCAM バージョン 7 のライセンスが SheetCAM バージョン 8 で動作しないのはなぜですか？

SheetCAM V8は、便利な新機能が追加されてアップグレードされました。以前のアップグレードとは異なり、他の多くのソフトウェアと同様に、バージョン8は無料ではありません。

製造業向け。バージョン7を最近ご購入いただき、バージョン8へのアップグレードをご希望の場合は、サポートまでメールでご連絡ください。特別価格にてご案内いたします。

2D CAD は SheetCAM とどのように通信するのでしょうか？

通信は簡単です。SheetCAM には 2D CAD を起動するボタンが追加されています。

SheetCAM ウィンドウが消えて (最小化されて)、2D CAD ウィンドウが表示されます。

次に2D CADを操作し、新規ファイルの作成や既存ファイルの修正を行います。ファイルの保存場所を覚えておいてください。2D CADを終了すると、SheetCAMは画面を復元し、作業を続行できます。

重要: 2D CADプログラムはCADファイルをSheetCAMにエクスポートしません。

自動的には表示されません (つまり、SheetCAMウィンドウ自体には表示されません)。他のファイルと同じように、新しいDXFファイルはSheetCAMに「インポート」する必要があります。

2D CAD で何ができるのでしょうか？

現在の 2D CAD 機能は次のとおりです。

- a) 既存の DXF/DWG ファイルを開いて編集し、保存できます。
- b) 新しい DXF/DWG ファイルを作成できます。
- c) 設計図 (図面) は「プロジェクト」ファイル (拡張子.mgp) に保存できます。これにより、最小限の労力で簡単に修正できます。このプロジェクトファイルには、すべての寸法と拘束条件 (接線性、一致性、共線性、相似性など、幾何学的要素のプロパティ) が記憶されます。
- d) 寸法 (直径、長さ、距離、角度など) を更新し、  
設計は自動的に更新されます。例えば、長方形の辺から100 mmの距離に穴の配列がある場合、この寸法を120 mmに変更すると、すべての穴が自動的に新しい位置に移動します。
- e) 直線パターンと円形パターンを作成できます (パターン ルールに従って幾何学的エンティティを複製します)。
- f) 様々なフォント、スタイル、サイズを使用してテキストを作成できます。テキストが所定のサイズに収まるように、境界矩形のサイズを制御できます。この機能は、テキストを所定の矩形に隙間なく収めたい場合に非常に便利です。

AutoNesting 機能は SheetCam とどのように通信しますか？

2D CAD と同様に、AutoNesting は SheetCAM のツールバー ボタンまたはメニューから起動できます。

部品のオペレーション（ジェットやプラズマなどのオペレーション）を最初に作成してから、AutoNestingモジュールを起動します。AutoNestingボタンを直接クリックすると、

最初にパーツに操作を割り当てずに SheetCAM を起動すると、何も実行されません。

AutoNesting の簡単なワークフロー：

a) SheetCAMに1つ以上のパーツを作成またはインポートします。

ネストに制限はありません。

b) AutoNestingで使用する各パーツの操作を作成します。c) AutoNestingモジュールを開きます。

パーツの数と

AutoNesting アプリケーションは、AutoNesting 後に対応する数のパーツを作成します。

注： AutoNestingを開始する前に、必ずオペレーションを作成してください。なぜこれが必須なのかを説明しましょう。AutoNestingは、パーツの形状だけでなく、オペレーション用に作成されたツールパスを使用します。このアプローチは、他のAutoNestingアプリケーションと比較して非常に有益です。ツールパスは、オフセット、リードイン、リードアウトの動作など、パーツの形状だけでなく、より多くの情報を提供するためです。これにより、AutoNestingの実行後、隣接するパーツがこれらの追加動作によって互いにオーバーカットすることがなくなります。

d) 自動ネスティングが完了し、最適なネスティング方法が選択されたら、「適用」をクリックすると、SheetCAMのメインウィンドウが再び表示されます。自動ネスティング関連のダイアログボックスが表示され、自動ネスティングの結果をどのように適用するかを管理できます。

AutoNesting に関するその他の情報：

a) AutoNesting レイアウトに使用可能なオプションが表示されない場合は、ネイティブの SheetCAM 手動ネスティング ツールを使用できます。これらのツールは以前と同じように引き続き存在します。

b) AutoNestingは、多数の計算を必要とする複雑な幾何学的アプリケーションです。

設定するパラメータの数に制限はありません。多数のパラメータを要求する代わりに、異なるパラメータに対応する複数のバリエーション、つまり出力を生成します。ユーザーはアプリケーション内の「AutoNest」ボタンをクリックするだけで、様々なネスティングスタイルに対して計算された複数のネスティングバリエーションを確認できます。複数の最適化手法を網羅することで、ユーザーがニーズに最適なバリエーションを選択できるようにしています。